

平成 2 7 年

第 4 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 7 年 9 月 3 日

平成27年第4回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告をさせていただきます。

【教育総務課】

◇仙北市立学校施設天井等落下防止対策事業について

文部科学省から、東日本大震災による学校施設の天井等落下被害を防止するための対策事業として、今年度は、小学校4校を(株)小松建設と98,150,400円、中学校3校を(株)寺沢工務店と69,660,000円で、それぞれ工事契約をいたしました。

吊り天井を有する学校を優先的に工事を進めておりますが、工事期間が3カ月から4カ月を要することから、現在、夏季休業中を含めて工事を実施している学校が4校、学習発表会等を終えてから工事を実施する学校が3校となっております。

工事期間が長く、学校運営に支障を来すこととなりますが、同地区の学校の工事を一緒に行わないなどの配慮をするとともに、市立体育館等を利用できるよう調整を図るなどの工夫をし、児童生徒の安全対策に万全の体制で工事を進めて参ります。

【教育指導課】

◇県展並びに全県中学校総合体育大会の主な結果について

県展入選

第57回県美術展覧会(県展＝秋田魁新報社、県、県教委、秋田市主催)の作品審査が6月22日に行われ、応募した仙北市内の中学生からも多数の入選者が生まれました。

県展は、日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真、デザインの7部門に、1,742点の応募があり、このうち、中学生はデザイン部門に150点、洋画部門に69点、合計219点の応募がありました。

デザイン部門では、生保内中学校3年の木村花さんの作品

「頭脳流出」が、一般応募作品と肩を並べて奨励賞を受賞しました。同じくデザイン部門では、角館中学校3年の阿部春音(はるね)さんの「救世主」、根本侑子(ゆうこ)さんの「Stay with me」、佐々木唯衣(ゆい)さんの「知識」、2年の大石祐斗(ゆうと)さんの「カラフルな光が差し込んでいる」、田口歩実(あゆみ)さんの「フラワー」がそれぞれ入選しました。

洋画部門では、生保内中学校3年の渡邊義基(よしき)さんの「ゼロヒストリー」と藤原由羅(ゆら)さんの「太陽系の星々」が入選するなど大活躍しました。

全県中学校総合体育大会

第64回秋田県中学校総合体育大会が、7月18日から20日まで開催されました。由利本荘市総合体育館で行われた男子卓球団体で、神代中学校が第3位に入賞しました。また、男子個人で神代中学校3年の鈴木隆星(りゅうせい)さんが3位入賞、卓球女子個人では、角館中学校3年の大和田凜(りん)さんがベスト8に入り、それぞれ東北大会の出場権を獲得しました。

また、北秋田市合川体育館で行われた柔道男子55kg級で、角館中学校3年の後藤瑞稀(みずき)さんが準優勝し、東北大会の出場権を獲得しております。

全県少年野球大会

雨の影響で開幕が1日遅れた「第81回全県少年野球大会兼第64回秋田県中学校総合体育大会軟式野球大会」に出場した角館中学校は、7月26日の初戦で矢島中を延長8回1対0で下し、2回戦の土崎中を2対0、準々決勝は鷹巣中を相手に3対1で勝利を収めました。29日に行われた準決勝では、優勝した稲川中と対戦し惜しくも、1対3で敗れましたが、見事全県第3位に輝きました。

秋田県吹奏楽コンクール

8月8日と9日に行われた、全日本吹奏楽コンクール第57回秋田県大会の「中学校合同の部」で、西明寺中と桧木内中の合同バンドが美しい音色とハーモニーを響かせ、見事金賞を受賞しました。

◇仙北市・富士河口湖町子ども交流事業について

クニマスの再発見を契機に始まった交流事業は、4回目を迎えました。今年は7月30日から8月1日までの3日間、市内各中学校の代表6人が山梨県富士河口湖町を訪問しました。

参加した生徒は、山梨県水産試験場忍野分室で、生きているクニマスを見学し、その生態や養殖の状況について学習しました。

また、富士河口湖町役場で渡邊町長を表敬訪問し、「西湖の漁師は、あたりまえのこととして、湖水の環境保全に取り組んできた。あたりまえのことをあたりまえにやることが大切だ。」というお話をお聞きしました。訪問2日目から3日目は、富士浅間神社で過去の自然災害の実例を学び、リニアモーターカーの試験走行を見学して、最先端の交通技術のすばらしさを体験してきました。

参加した生徒は、在籍校で体験を発表し、交流を通して得たことを自校の生徒に伝えながら、クニマスや環境保全、仙北市の将来について考えていきます。これらの活動を通して、市内生徒の環境学習の深化と、地域貢献意欲の育成につなげていきたいと考えております。

なお、富士河口湖町からは、田沢湖マラソンに5人が参加する予定で、今後もさらに交流を深めていきたいと思っております。

◇全国学力・学習状況調査の結果について

本年4月21日に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、

全国学力・学習状況調査が、国公立の小・中学校が全校参加して、全国一斉に実施されました。本市でも小学校7校、中学校5校が参加しております。

文部科学省から8月25日に結果が公表され、秋田県は小・中学校とも引き続き全国トップレベルの結果がでております。

本市小・中学校の結果も報告されており、調査対象全教科について、小学校、中学校とも全国平均を上回り、概ね良好な結果となっております。

今後は、結果の分析から本市の課題を明らかにするとともに、調査結果を活用した授業等の改善に向けて、各校での取り組みを進めて参ります。

◇角館中学校の研究助成金支給について

角館中学校は、総合的な学習の時間で、「キャリア教育の視点を重視したふるさと教育」を推進し、桜の木への施肥活動や、桜祭り案内人、角館のお祭り案内人などの活動を行ってきました。

この度、この活動が評価され、(公財)日本教育公務員弘済会から、教育研究助成事業の奨励金助成団体に選ばれました。

これにより50万円の助成金が支給されることとなり、助成金は案内人として活動する際のたすきや、映像機器の購入に充てられます。

仙北市の教育の重点であるふるさと教育への取り組みが、全国的に評価された事例として大変喜ばしいことであり、今後とも地域を学び、地域で活動し、地域に貢献する児童生徒の育成に取り組んで参ります。

【生涯学習課】

◇仙北市成人式について

8月15日に、仙北市民会館において仙北市成人式を開催し

ました。今年度の成人対象者は278人で、うち217人（78%）が参加し、久々の友との再会を喜び、お互いの成長を笑顔で確かめ合っていました。

新成人3人による「誓いのことば」では、これまでの自分を振り返り、両親や家族、仲間への感謝を胸に、これからは社会の一員として責任感を持ち、夢や目標に向かって頑張りたい、これから変化を続ける自分たちの今後を楽しみにしていて欲しい、これから様々な経験を重ねて成長し、自分たちを育ててくれた仙北市に恩返しをしたいなど、力強い決意が述べられました。

成人式は、数年前から新成人自らが企画し進行を執り行っており、今年も地元在住の有志が集まり準備を進めました。市内5中学校出身者がお互いに協力しながら、司会者などの役割分担を決め、アトラクションの趣向もこれまでとは違うものにするなど、自分たちの手作りの成人式となっています。

人口減少が著しい本市ではありますが、節目としての成人式に仲間とともに参加し、地元の良さを再認識した新成人が、一人でも多くこの地に定住し、地域活性化の担い手の一員となってくれることを期待しております。

◇「第3回戸沢サミットin仙北」について

戸沢サミットは、戦国武将戸沢氏に縁のある、岩手県雫石町、茨城県小美玉市、同高萩市、山形県新庄市と仙北市が、戸沢氏の顕彰と後世への伝承、関係自治体の相互紹介とそれを地域活性化につなげることを目的に、高萩市の提唱により平成25年から始まったものです。各自治体の持ち回り開催で、第3回目の今年は、本市を会場に8月17日と18日に開催されました。

8月17日のたざわこ芸術村温泉ゆぽぽを会場に行われたサミットには、戸沢家当主である戸沢充・友子様ご夫妻を始めとする多数のご来賓の皆様のご臨席をいただきました。関係4自

治体からは、各首長をはじめ、議長や教育長など32人、市内外からの一般市民も含め、全体で200人余りの参加をいただき、盛大に開催することができました。

サミットでは、各首長による自治体の紹介や、私の戸沢氏にまつわる講演、西明寺中学校生徒による寸劇、戸沢ささらの披露、次回開催地への引継ぎ式などを行いました。

特に、西明寺中学校生徒による寸劇「新説 戸沢盛安」の上演は、その完成度の高さに参加者一同感激の面持ちで、大好評でありました。

また、戸沢ささらも、関東系とは異なる南部系の様式を引き継ぐ貴重なささら舞であり、後継者の育成による伝統芸能の継承の面からも、意義深いものになったと思います。

8月18日には、元秋田県教育庁文化財保護室長の大野憲司氏の案内による、県指定史跡の門屋城址史跡研修や、武家屋敷散策を楽しみ、来年度の開催地である雫石町での再会を誓い合いました。

この戸沢サミットを機に、地域の歴史や地域文化の更なる発掘、保存、継承に努めて参りたいと思います。

【田沢湖公民館】

◇生保内節盆踊り大会について

8月20日、田沢湖庁舎駐車場を会場に、第45回生保内節盆踊り大会を開催しました。

市内外から昨年を上回る300人余りの参加者を迎え、過ぎゆく夏の夜を民謡「生保内節」に合わせて、二つの大きな輪になり、心ゆくまで盆踊りを楽しみました。

踊りの合間には、生保内田植え踊り保存会、石神稲穂太鼓保存会、生保内小学校児童、だしのこ園職員有志によるアトラクションが披露され、詰めかけた500人余りの参加者・観衆から盛大な拍手が送られていました。

表彰式では、個人賞、仮装賞、団体賞のほか、地元協賛企業による特別賞が受賞者に贈呈され、会場は大いに盛り上がりました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇「平福百穂とアララギ歌人展」について

9月1日から11月3日まで、新潮社記念文学館、角館町平福記念美術館、角館樺細工伝承館による三館合同企画、仙北州市制10周年記念事業「平福百穂とアララギ歌人展」が、「秋田県立角館高等学校創立90周年記念」展として、開催されています。新潮社記念文学館では、「校歌若杉とアララギ歌人茂吉と赤彦展」と題して、旧制角館中学校の校歌完成に携ったアララギ歌人、島木赤彦、斎藤茂吉らの資料や書簡、書籍等が展示されています。

また、茂吉の校歌草稿、昭和天皇から下賜された羽二重で製作した校旗、開校にまつわる百穂書簡などを通し、百穂とアララギ歌人との関係、校歌・校旗完成までの様々な思いも探ることができます。

山形県上山市の斎藤茂吉記念館や、東京の日本近代文学館、長野県下諏訪町の赤彦記念館からお借りした貴重な資料も展示しておりますので、是非、多くの皆様にご覧いただきたいと思っております。

【市民会館】

◇「生保内節全国大会」について

第30回の節目となる「生保内節全国大会」は、9月22日と23日の2日間にわたり、仙北州市制10周年記念大会として開催されます。

近年、県内民謡大会の参加者は、減少傾向にありますが、今年の大会は、一般の部に141人、次代を担う年少者の部は、

昨年を大きく上回る33人の参加申し込みがありました。

また、記念事業として、これまでの歴代優勝者の中から18人の方々にご出席いただき、優勝者の名入り提灯の点灯式を行います。

さらに、これまで本大会の運営に永年にわたり、ご尽力された方々の功績に敬意を表し、3団体と9個人に感謝状を贈呈いたします。

「生保内節」は、県内随一の民謡の宝庫ともいわれる北浦地方の中で、最も評価の高い秋田民謡の原点ともいえる歌であることから、大会を通じて伝統文化としての民謡の普及継承に努めるとともに、大会の成功に向け着実に準備を進めて参ります。

【スポーツ振興課】

◇田沢湖マラソンの開催について

9月20日、仙北市市制10周年記念第30回田沢湖マラソン大会が、シドニーオリンピック女子マラソン金メダルリストの高橋尚子さんをゲストランナーにお迎えして開催されます。

高橋さんからは、ランニング教室においても、ご指導をいただくこととなっております。また、前夜祭の参加申し込みも、定員の120人が満席になるなど、盛り上がりを見せております。

今大会には、海外を含め、全国各地から過去最高となる約6,200人余りの参加申し込みをいただきました。武蔵野などの臨時駐車場への誘導を図りながら、受付時の車両渋滞の解消を図りたいと考えています。

今年は、マラソンコースの公認更新年となっておりますが、10kmコースについては、(公財)日本陸上競技連盟の競技規則の関係で公認申請することができませんでしたが、フルマラソンと20kmコースについては、更新することができました。

高橋尚子さんの笑顔と市民の皆さんからのご声援をいただき、これまで以上にランナーの皆さんを盛り上げ、30回の記念大会にふさわしい素晴らしい大会にしたいと考えております。

◇2016 F I S フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会の準備状況について

仙北市において2回目の開催となるモーグルのワールドカップが、6月に開催されたF I S（国際スキー連盟）の会議において、昨年と同時期の平成28年2月27日と28日に開催されることが決定しました。

また、8月10日から2日間、F I Sの役員による現地調査がたざわこスキー場で行われ、ジャッジハウスの新設を含めたコースのレイアウトや、大会運営方法などについて、ご指導をいただきました。

2018年の韓国、2022年の中国での冬季オリンピックと合わせ、今後、アジアにおけるフリースタイルスキーモーグル競技の人気の高まることが予想され、たざわ湖スキー場が重要な位置になるとF I Sからも助言されており、期待に応えられるよう、万全の準備態勢を整えて参ります。

◇各種スポーツ大会について

6月にイタリアで開催された、世界ラート競技選手権大会において、仙北市角館町出身の高橋靖彦選手が、男子個人総合と男子跳躍で、昨年に続き見事2連覇を達成いたしました。

その映像の一部を、仙北市スポーツのホームページに掲載しておりますので、是非ご覧いただきたいと思っております。

9月13日に、秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！横手大会が、横手市の「秋田ふるさと村」特設会場を発着点として開催されます。仙北市も小学生、中学生、高校生、一般、壮年の各年代の代表選手からなる9区間に、17人の選抜

チームを結成し大会に臨みます。

また、9月27日には、第25回100キロチャレンジマラソン大会が開催されます。仙北市もこの大会にかかわりながら、秋田県や関係団体とともに、大会継続のあり方をしっかり確立していきたいと考えております。

なお、田沢湖高原リフト（株）が誘致活動をしていた、全日本マスターズスキー選手権大会が、平成28年3月4日から3日間の日程で開催されます。500人以上の選手を仙北市にお迎えすることから、大会実行委員会への補助金を本議会の補正予算に計上しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

国では、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた選手強化、スポーツを通じた地域振興や国際交流に取り組むため、10月1日にスポーツ庁を設置することとしておりますが、当市においても、今後いっそうのスポーツ推進に取り組んで参ります

【文化財課】

◇伝建群防災事業について

本年度から事業実施している国庫補助事業の伝建群保存地区防災施設整備工事Aブロック（石黒家・青柳家周辺）を、7月6日に（株）瀧神巧業と28,836,000円で工事契約し、11月末の完成を目指し進めております。主な工事内容は、建築・機械設備にかかわるポンプ小屋と貯水槽の新設工事などです。

◇弘道書院跡発掘調査について

秋田藩角館郷校「弘道書院」調査・発掘については、7月1日から40日余りにわたり、元県教育庁文化財保護室長の大野憲司先生を中心に、県埋蔵文化財センターで、発掘作業に従事していた方々を中心に作業を行いました。

前回の検討委員会や山形大学と協議された内容、史料による調査、復原図案などに基づき、慎重に作業を行ったところ、始めて間もなく、明治30年代ごろと思われる旧角館小学校跡の基礎部分である礎石が現れ、それが連鎖するように関連の主要施設の一部も出土しました。特に、明治18年に増築された柱跡と思われるものも発見され期待が高まっております。

この調査で掘り当てた内容につきましては、この後、市民向けの現地見学会の開催や広報等で紹介したいと考えております。

◇金峰神社仁王門の修理工事について

昨年度、仙北市の文化財に指定されました「金峰神社仁王門」の修理工事は、7月23日に工事に着手し、9月末の完成を目指して順調に作業が進められております。

◇「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」の受賞について

10月11日と12日に、横手市の秋田ふるさと村ドーム劇場をメイン会場に、『日本の祭りinあきた2015』が開催されますが、その中で「角館のお祭り保存会」が、「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」という最高賞を受賞することが決定いたしました。これをお祝いするために、曳山2台の出演依頼があり、「角館のお祭り」の一端を披露して参りたいと思います。

この受賞を機に、角館が誇る国の重要無形民俗文化財、「角館祭りのやま行事」の保存継承と、更なる全国への発信に努めて参ります。

【角館町平福記念美術館】

◇「平野庄司作品展」について

6月27日から8月23日まで、「平野庄司作品展～美しい切り絵の世界～」を開催いたしました。

秋田の自然やそこに暮らす人々の営みが、四季折々に移り変

わる農村風景とともに、数多く描かれた作品や下絵スケッチなど130点以上を展示し、来館された多くの方々に、心温まる作品を楽しんでいただけたことと思います。

なお、期間中の入館者は、2,387人となっております。

◇「平福百穂とアララギ歌人展（画業）」について

9月1日から10月4日まで、新潮社記念文学館、角館町平福記念美術館、角館樺細工伝承館の三館合同企画展、「平福百穂とアララギ歌人展」が、仙北市市制10周年記念事業として開催されます。

平福記念美術館では、サブタイトルに「平福百穂の画業展」と銘打って、旧制角館中学校（現角館高校）開学の先頭に立ち、尽力した平福百穂の画業をたどります。

“たらし込み”技法で描いた文展出品作の屏風「牛」や、「富貴之臺」、「春山」など、秋田を題材とした作品や、アララギの歌風で描いた作品が数多く出展されており、当時の中央画壇をリードした百穂の画業を心ゆくまで、ご堪能いただきたいと思います。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます、教育行政報告といたします。